

平成 16 年度分野別研究組織 研究成果の概要

中国語の空間移動文における意味的組み合わせ

Semantic Structure of Motion Event in Modern Chinese

張 黎
(Zhang Li)

本稿は自然語句を意味的関数のキャリアーと見なす。あらゆる文がすべて意味的関数式である。自然語句の中で、ある意味的カテゴリーは独立変数 (Independent Variables)、ある意味的カテゴリーは従属変数 (dependent variable) である。独立範疇と従属範疇の間に制約すると制約される、低階層と高階層といった関係がある。文の意味構造は、正にこのような関数関係を持つ意味的カテゴリーによって組み合わせられる。

中国語の空間移動文は関数式である。本稿の主旨は中国語の空間移動に関する関数式を解析するものである。中国語の空間移動文を下記の典型的な例文で記す。

小王 (把)球 从 船 上 滚 进 河 里 去 (了)。
A B C D E F G H I J

上述の記号は空間移動文における 1 つの意味的カテゴリーを表す。具体的に、A は仕手体、B は空間移動体、CDE は“陸源” (空間移動の原点)、中に C は“陸源”のマーカ、D は“陸源”参照物、E は“陸源”ベクトル、F は空間移動の様態/動因、G は空間移動の模式、HI は“陸標” (空間移動の着点)、中に H は“陸標”参照物、I は“陸標”ベクトル、J は視点性空間移動である。

中国語の空間移動文における基本的意味構造は：

仕手体—空間移動体— (“陸源”) —空間移動の動因/様態

—空間移動の模式— “陸標” —視点性空間移動

最も簡単な構造は：空間移動体—空間移動の模式— “陸標” (球进河)

本稿は上記の記号間の関係について、詳しく解析した。

- 1) A と B—仕手体と空間移動物。空間移動物と空間移動の動力関係に基づき、空間移動文は“自移文” (空間移動物が自然状態にある文)、“施移文” (仕手は空間移動物となる文)、“致移文” (仕手と空間移動物が別々となる文) に分けることができる。
- 2) CDE と GHI は空間移動の動作前後において、空間移動の起点と着点という 2 つの機能群を表す。CDE は動詞前に置いて、一般に空間移動の原点、すなわち空間移動の発生起点を表す。GHI は動詞の後に置いて、空間移動の着点を表す。

- 3) FとGは空間移動文の核心の1つで、本稿はこれを空間移動のモードと称する。Fは空間移動の動因あるいは状態、Gは空間移動の“陸径”（経路）を表す。
- 4) “来”と“去”は主体の視点性空間移動を表し、それと空間移動の表す客観的空間移動とは相対的なものである。“来”と“去”の主体性とは空間移動の仕手体ではなく、話者を指す。“来”と“去”の働きは客観性のある空間移動の事象を話者と関係付け、“来”は客観的空間移動の事象が求心的であると表し、“去”は客観的空間移動の事象が遠心的であると表す。また、文構造が異なると、視点の中での移動対象は異なってくる。“自移文”と“施移文”では、移動対象は文の主語が表す対象である。それに対して“致移文”では、移動の対象は仕手体ではなく、受動体である。
- 5) 空間移動の動相は空間移動文の中で、空間移動の動作(H)、空間移動の“陸径”(G)と主体性空間移動(J)によって構成される空間移動の動作態勢である。空間移動の物相は空間移動文の中で、それと関連する名詞、空間移動物、“陸源”と“陸標”が含まれる。中国語の空間移動の動相は三位一体という構造を呈し、すなわち文法上、中国語における空間移動の動作(H)、空間移動の“陸径”(G)と主体性空間移動(J)は抽象的な文法構造を成しており、それが空間移動の動相の表し方に全体的な足場を提供した。したがって、中国語の空間移動の表し方においては、三位一体で表される傾向にある。なお、この三位一体という構造の中には、階層関係もある。

以上述べたように、ほかの言語に比べ、中国語の空間移動文における意味的組み合わせは強烈な個性を示し、主に次の通りである。

- (1) 中国語の空間移動文は時間順序の原則に従い、意味的組み合わせを行う。具体的に：
 - a、“陸源”が“陸標”より先。
 - b、空間移動の動因は“陸径”より先。
 - c、事件性空間移動範疇（空間移動の動作あるいは空間移動のモード等）は視点性空間移動範疇（来／去）より先。
- (2) 中国語における空間移動文の3つの動作を、同じ文法の構造で表現することができ、“三位一体”といった傾向を持つ。例えば：

走出来 拿回来
跳进去 跑上去
- (3) 中国語における空間移動文の意味関係は意味函数的な関係を示し、しかも簡潔な関数式である。